



創立69年目の南中

校長 稲田 修

今年度、創立69年目を迎えた南中は全校生徒310名でスタートしました。コロナ禍ではありますが、生徒の活動をできるだけ保障することを念頭に置き、行事等については職員間で十分協議した上で、工夫しながら実施しております。

3年生は、昨年度から延期となっていた2泊3日の修学旅行を無事実施することができました。感染症予防対策のため、自由行動ができないなどの制約はありましたが、3年生の主体的な行動のおかげで、中学校生活最大のイベントである修学旅行を成功させることができました。3年生にとっては、仲間との絆を一層深めることができ、生涯忘れ得ぬ貴重な思い出になったものと確信しております。

2年生は、中堅学年として3年生を支える縁の下の力持ちの役割をしっかりと務めております。1年間の経験を生かして、生徒会や部活動においても3年生をサポートしつつ、1年生の手本となって取り組んでいました。この後、3年生から活動を引き継ぐこととなりますが、先輩からの教を心に刻み、南中の伝統をしっかりと受け継いでいくことを期待しております。

1年生は、入学したばかりの4月当初とは違って、学級や部活動の仲間と共に過ごしていく中で、中学校の雰囲気にも慣れてきました。授業においても、積極的に挙手をする姿や協力して課題解決に取り組む姿が見られ、たくましさを感じられます。学年スローガンである「輝け、南中魂～99人の思いをつなげ～」の下、飛躍する1年となることを願っております。

創立69年目の南中は、各学年とも順調な歩みを進めております。コロナ禍であっても、生徒には、「今できることを、精一杯取り組む姿勢を大切にすること」を常に意識させていきたいと考えております。

「全力主義」

生徒指導主事 佐々木

私が赴任した令和2年4月はコロナ禍まっただ中。新学期早々の休校措置。大会やコンクールが中止となる中、今できることを全力で頑張ろうとする南中生の気概を感じました。

時は流れ、令和3年。感染対策をしっかりと行いながら、できるだけ通常に近い形で学校生活を送ることができるよう計画を立てました。3年生の北東北への修学旅行。県外へ出ることへの不安はありましたが、帰ってきてから体調を崩す生徒はいませんでした。規律を守り、感染予防に全力で取り組む集団のすばらしさを感じました。旅先では、「よく来てくれた」「待ってたよ」など、たくさんの方々からの歓迎や感謝の言葉に、改めてコロナ禍に苦しむ状況を感じ取った旅行だったようです。また、帰校する3年生を下級生が全力の笑顔で出迎える姿に、バスガイドさんが、感動の涙を流したとか……。

この原稿を書いている6月。2年ぶりの中総体に向けて、気合いの入った声が聞こえてきます。生徒たちは、これまで同様に「全力」で大会に臨むことでしょう。

私は南中の「全力主義」が大好きです。



1年南中スポーツを終えて

1年主任 伊藤

7月13日、中学校に入学してから初めての学年行事である南中スポーツを実施しました。評議委員が中心となり、6月下旬から準備を進めてきました。梅雨時ということを考えて、今回は全て屋内競技で行いました。

開会式での学年代表挨拶、選手宣誓、保健体育係による準備体操の後、競技が始まりました。午前はバスケットボールとドッジボール、新型コロナウイルス感染対策のため試合のない学級は渡り廊下で静かに待機しましたが、指示に従って確実に行動することができていました。ゲーム間の入れ替えもスムーズで、予定より早く終わることができました。

午後は、障害物全員リレー、8の字縄跳び、借り人競走という学級が一つになる種目を行いました。学年全員
の笑顔が輝き、仲間への優しさが随所に見られ、一人一人が行動力を発揮することで、学級や学年のつながりが強くなったように感じました。そして、一人一人の生徒がSTARになることができた
と確信しています。本当に素晴らしい1日になりました。夏休み明けには、南中祭、合唱コンクールなどの行事が行われます。今度は先輩方の姿や行動から多くのことを学ぶことで、一人一人が更に成長できることが期待されます。生徒たちが達成感や充実感を得られるように支援してまいりたいと思います。



南中スポーツを振り返って

2年主任 石戸

一年生から数えて3回目の南中スポーツは、生徒たちの成長が感じられるとても良い行事になりました。特に印象的だったのは、企画から関わった評議委員が、自分たちの発想を取り入れて、新しい南中スポーツを作り上げたことです。例えば新種目の「鬼ごっこ」。幼い頃に親しんだ遊びを、どうやって学級対抗の行事として成立させるのかと思いましたが、「対戦するクラス以外の生徒が鬼を務め、捕まえられた人数の少ない方が勝ち」という「目から鱗」な発想で、皆が夢中になれる行事にすることができました。また、試合が行われている最中に、ステージ上で臨場感溢れる「実況中継」を交代で行っていたのも、昨年にならぬ試みでした。準備体操を務めた保健委員は、直前になって体操の音源が無いことに気付くというハプニングもありましたが、保健委員長がステージ上から体育館いっぱい響き渡る声で音頭をとり、体操をリードしました。そして、百名を超える生徒たちがそれに合わせて一斉に体を動かすことで、学年全体が一つになるムードが生まれました。臨機応変の対応でハプニングを福に転じさせたことが、この行事の成功につながったと思います。昨年までのやり方をただ踏襲するのではなく、自分たちの創意工夫を加えて新しいものを作り上げることには、大きなエネルギーが必要です。でも、それが可能だったのは、生徒たちに「みんなの期待を受け止めて心から楽しめる行事にしよう」という前向きなパワーがあったからです。後学期になれば南中のリーダーとして活躍する生徒たちの一層の成長を願い、これからも諸行事で豊かな経験を積ませていきたいと思ひます。



修学旅行～「紫雲～自分達の世界を～」

3年主任 稲垣

「みんな元気に出掛けて、元気に帰ってきます！」5月10日から2泊3日での北東北への旅が始まりました。3日間のほとんどがクラスごとの貸切バスの移動でした。その走行距離はなんと約960km。バスガイドさんのプロフェッショナルなガイドに助けられ、長距離、長時間にも関わらず車内では時間を忘れ、クラス内の楽しく和やかなひとときを過ごしました。

1日目は、小坂鉦山事務所、三内丸山遺跡、ねぶたの家ワラッセ、青森市観光物産館アスパムを訪問し、2日目は、十和田市現代美術館、龍泉洞、浄土ヶ浜を訪れました。3日目は、三陸鉄道の「震災学習列車」に乗車し、最終訪問先は角館の武家屋敷と、秋田・青森・岩手、3県の代表的な名所や観光地のオンパレードでした。北東北3県の大自然は本当に素晴らしく、私たちには見慣れた景色とはいえ改めて感動しました。途中、雨模様の場面もありましたが、行程を変更することなく、むしろ天候を含めて自然を十分に体感できたように思います。また、各県の代表的な郷土料理でもある「バラ焼き（青森）」「せんべい汁（岩手）」「わんこそば（岩手）」などを堪能し、たっぷりと食文化に触れることができました。

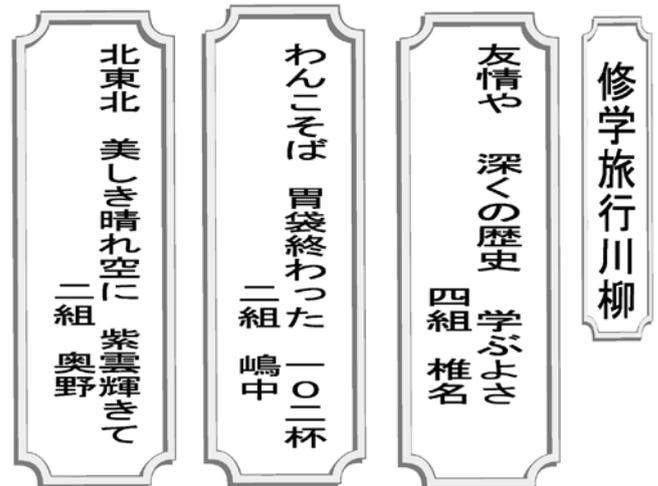
あっという間の3日間でしたが、南中3年の修学旅行団は、約束通り元気に帰ってまいりました。この旅行では、体調管理や手指消毒などを徹底し、感染予防対策等を十分に行いました。危機管理意識を高くして行動することは、生徒たちにとって窮屈なものであったかもしれません。しかし印象的だったのは、訪問先で出会う多くの方が私たちを歓迎してくださったことです。修学旅行が実施できて良かったと生徒たちの表情も明るくなった瞬間でもありました。

「自然・食・人」に感謝できた充実の3日間は、生徒たちにとって一生思い出に残る素晴らしい修学旅行となりました。コロナ禍で実施した修学旅行だからこそ得ることができたたくさんの経験と感動を、生徒たちはこれからの学校生活に必ず生かすことと思います。

保護者の皆様や地域の方々からはたくさんの応援や励ましのお言葉をいただきました。これまでのご理解とご協力で改めて感謝申し上げます。



被災地の「今」を車外から眺めて【三陸鉄道「震災列車」】



十和田現代美術館のフラワーハウス



次々と運ばれる初駒のわんこそば



ねぶたのお面でご満悦

■ 秋田市中学校総合体育大会（市中総体）を終えて ■

男子陸上競技部

主将 渡辺

今年の市中総体は、個人としては、大会直前のケガもあり、不安がある中での参加でした。しかし、周囲のサポートもあり、自己ベストを更新して県中総体出場を決めることができました。また、チームとしては、春季大会に続く総合3位とはなりませんでしたが、一昨年の市中総体で達成することができなかった入賞を果たすことができました。そして、メンバー全員で楽しく充実した2日間を過ごすことができました。部活動で頑張った経験を、引退後の生活に生かしていきたいです。

女子陸上競技部

主将 佐藤

市中総体では、個人種目で自己ベストを更新できて、とても良い締めくくりになりました。チーム全体としても、競技に向かう姿勢や当日の動きが、一人一人とても良かったと感じています。今大会で引退する3年生もいますが、県大会に進んだり、駅伝に出場したりする3年生もいます。残った部員全員で一つの目標を見据え、全力主義で頑張っていきたいです。そして、中学校3年間の部活動で得たこと、学んだことをしっかりと次につなげていきたいと思っています。本当に心身共に成長することができた貴重な時間だったと強く感じています。

男子バスケットボール部

主将 金澤

市中総体では、初戦から県トップレベルの山王中と対戦しました。敗れてしまいましたが、試合終盤まで自分たちの持ち味である固いチームディフェンスで相手を苦しめることができました。また、この1年間公式戦では2点差、3点差の接戦が続きました。最後まで行方が分からない試合を戦い抜くことができたのは、チームが一つになって同じ方向を向くことができたからだと思います。県大会ベスト4という目標を成し遂げることはできませんでしたが、1試合から多くのことを学ぶことができました。最後まで応援ありがとうございました。

女子バスケットボール部

主将 鈴木

今年の市中総体は昨年とは違い、観客や声量に制限がかかっていて「大会」という感じはしませんでした。開催できたことに感謝したいです。

今大会の1回戦と2回戦は厳しい試合を強いられました。けれどこの大会で得た1勝は、いろいろな意味で貴重な1勝になったと思います。また、試合ができた喜び、たくさんの経験をさせて頂いたありがたさを忘れずに戦い抜くことができ、大切な大会となりました。

これまでの出来事を13人で分かち合い、チーム南中として戦うことができとても幸せでした。

剣道部

主将 佐藤

中総体を終えて、私は、自分の心と改めて向き合うことができた実感しました。2年生の夏、3年生の先輩方が引退し、剣道部の部員は1人になってしまいました。共に勝利を喜び、敗北を悔しむ仲間はいません。しかし、今年になって、たくさんの1年生が入部し、昨年と違った部活動を楽しめました。大会に向けて頑張った練習、その成果はこの大会で発揮できました。昨年出られなかった団体戦にも出られました。これまでの部活動で鍛えられた心はこれからの生活に生かせると思います。後輩への感謝を忘れず、これからも強い心でいたいです。

サッカー部

主将 江上

これまで部活を行ってきた中で、上手く部をまとめることができなくて、不安に思うこと、辛かったこともありましたが、最後の市中総体でしっかりとチーム一丸となってやり通すことができました。試合が進むにつれて緊張が高まり、自分の力を発揮できるか不安な気持ちで一杯でした。みんなで県大会出場をつかみとることができなかったけれど、「南中のサッカー」を見せることができたと思います。今まで一緒にプレーしてくれたたくさんの人たちとの思い出は、私にとって一生の宝物です。私たちを支えてくださった先生方や保護者の皆様、ありがとうございました。

男子卓球部

主将 石崎

「やってみよう」という友達からの誘いで入部した卓球部。軽い気持ちで入ったら、用具の組み合わせや技がプレーにつながる、奥深いスポーツということを知りました。2年生までは、監督の戸田先生による熱い指導の下、日々仲間と共に走り続けてきました。今年の4月からは、監督になった佐藤遥香先生と一緒に市中総体に臨みました。団体戦では1回戦敗退となりましたが、個人戦では1名が県大会出場となりました。3年生6人がそろるのはこれが最後の大会となりましたが、一人も欠けずゴールを迎えたことに「やって良かった」と思えた大会でした。

女子卓球部

主将 高橋

私たち女子卓球部は「団体で県大会出場」を目標に日々の練習を頑張ってきました。迎えた当日。午前中の個人戦では、各々今までの練習の成果を発揮しようと戦略を考えながら試合を進めることができました。午後から始まった団体戦。1回戦は泉中との試合。5ゲーム全てで白熱する試合となりましたが、あと一歩及ばず初戦敗退。チームの目標達成とはなりませんでしたが、最後にこのメンバーで戦うことができ良かったです。私にとって最初で最後の中総体が、最高の思い出になりました。

男子バレーボール部

主将 村田

市中総体を終えて、応援してくれた保護者や支えてくださった先生方の前でバレーができることに改めて感謝しています。市中総体では、僕はキャプテンとしてチームを引っ張り、コート雰囲気をも暗くしないように声かけを積極的にできました。自分たちの目標は「全県優勝」なので、市中総体で満足はせず、県大会ではチーム全員で声を出してベストを発揮し、これまでお世話になった先生方、コーチ、家族に恩返しができるよう絶対に優勝したいと思います。

女子バレーボール部

主将 鈴木

市中総体では、1回戦秋田北中に2-0で勝ち、2回戦城東中に0-2で敗れ、ベスト8という結果でした。3年生2人、2年生3人、1年生6人を含めた新チームで臨んだこの大会は、それぞれが自分の役割を果たし、最後まで諦めず、全員バレーで戦うことができました。後輩のみなさんには、これからもっと上を目指し、チーム一丸となって頑張ってもらいたいと思います。そして、輝かしい南中バレー部の伝統を引き継いでほしいです。今までご指導してくださった先生方、応援し支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

野球部

主将 渡邊

私は、この1年間「野球部主将」として活動してきました。初めは軽い気持ちで「楽しく」やっていましたが、日を重ねるごとに、「勝たなきゃ」「結果を残さなければ」という思いが強くなり、「楽しい」が「あせり」に変わっていききました。様々な困難に直面し、つらいときもありましたが、その分チームの団結力が増し、最初の頃と比べると大分成長したように思います。市中総体で初戦敗退という悔いの残る結果になってしまいましたが、僕はチーム17人で最後まで野球ができたことが何よりも嬉しかったです。本当にありがとうございました。

男子ソフトテニス部

主将 佐藤

中学校3年間のテニス生活の集大成である中総体を終え、私は今まで積み重ねてきた練習を思い出していました。何も知らない状態からのスタートで、最初は先輩にあこがれることばかりでした。しかし、いつしか自分も上手くなって、「いつか先輩に勝ちたい」と思うようになり、練習に熱心に取り組みました。そのおかげで、県大会に出場することができました。市中総体で3年生としての意地を見せるため、たくさん練習をしました。自分が思う最高の結果を残すことはできませんでしたが、最後までテニスを楽しむことができ良かったです。

女子ソフトテニス部

主将 柴田

市中総体を終え、私は、諦めない心というのがどれだけ大切なのかを学ぶことができました。私にとって今年の中総体は、最初で最後の中総体であり、とても重要なものでした。最後の大会で、1勝はしたいという気持ちがあり、ボールをとにかく追いかけてました。ポイントを重ねていき、ファイナルでも粘って勝つことができました。以前は、無理だと思ったらすぐに弱音を吐いて諦めてしまう自分がいました。最後まで諦めなかったからこそ、自分自身の手で勝利をつかみ取れました。最後まで諦めない心を忘れず、これからも頑張っていきたいです。

フェンシング部

主将 津谷

フェンシングは個人競技です。そのため、勝利は自分自身の手でつかむものだと思っていました。しかし、学校全体が一丸となり、勝利をつかみにいくという姿勢から、勝利は応援してくれる人に支えてもらいながらつかむものだと気付きました。皆さんに応援していただいて出場した市中総体。結果は優勝でした。この大会で得たものを成長の糧にして、これからも練習に励んでいきます。応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

水泳部

主将 齊藤

僕が中総体で頑張ったことは、自分の泳ぎに集中して臨むことができたことです。タイムはあまり良くはなかったけれど、自分の力を最大限に発揮することができたと思います。県大会では、市の中総体よりも更に全力で泳ぎ、少しでもタイムを縮めることを目標にして頑張りたいです。悔いが残らないようにこれからの練習を積極的に行い、大会で見付かった課題や練習で見付けた自分に足りないところを、自分のものになりたいと思います。今できることを一生懸命考え、県大会に向けて頑張っていきたいです。

◆ 各種大会等の成績 ◆

秋田市中学校春季大会

- バレーボール男子 優勝
- 野球 第3位
- 陸上競技
 - 男子総合 第3位
 - 男女総合 第4位
 - 男子共通棒高跳 第1位 大原
 - 男子共通棒高跳 第2位 奥野
 - 男子共通800m 第3位 川村
 - 男子共通走幅跳 第3位 渡辺
 - 男子共通砲丸投 第3位 藤原
 - 男子共通400mリレー 第3位 藤原 ・ 渡辺
大原 ・ 佐藤
 - 男子共通110mH 第5位 佐藤
 - 女子共通走高跳 第1位 小松
 - 女子2年1500m 第4位 石田
 - 女子3年1500m 第5位 佐藤
 - 女子共通走幅跳 第6位 今野
- 卓球
 - 女子個人 全県大会出場 高橋

秋田市中学校総合体育大会

- スローガン発案 塚田 「繋ぐ ～みんなの心を一つに～」
- バレーボール男子 優勝
- 陸上競技
 - 男子総合 第5位
 - 男子共通棒高跳 第1位 大原
 - 男子共通棒高跳 第2位 奥野
 - 男子共通走幅跳 第3位 渡辺
 - 男子共通800m 第4位 川村
 - 男子共通砲丸投 第5位 藤原
 - 男子1年100m 第6位 渡邊
 - 女子共通走高跳 第1位 小松
 - 女子共通1500m 第5位 石田
 - 女子共通100mリレー 第6位 東海林 ・ 今野
佐々木 ・ 石塚
- 卓球
 - 男子個人 県大会出場 吉田
 - 女子個人 県大会出場 高橋
- フェンシング
 - 男子個人フルーレ 第1位 津谷
- 水泳
 - 男子個人100mバタフライ 県大会出場 齊藤
 - 男子個人200mバタフライ 県大会出場 齊藤



秋田県中学校総合体育大会

- 陸上競技
 - 男子共通棒高跳 第1位 大原
 - 男子共通走幅跳 第4位 渡辺
 - 男子共通棒高跳 第5位 奥野
 - 女子共通走高跳 第2位 小松
- フェンシング
 - 男子個人フルーレ 第1位 津谷

第三応援歌

朝日夕日に照り映えて
緑豊かな校庭に
スポーツ秋田の王座を占めて
秋南健児の意気高し

南
中

勝利を告げるの時期の声
米冠今やいたたきて
楢山原頭青空高く
輝く選手そのいさお